

事業所における自己評価結果

調査期間: 令和 5年 12月～令和 6年 1月 回答職員数: 6名

事業所名 キッズボンド佐千原(放課後等デイサービス)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0	十分な広さを確保している
	2	職員の配置数は適切である	2	4	0	適切だと思う(少し余裕があっても良い日があると良い)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0	0	玄関からバリアフリーになっている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	0	問題が起きたらすぐに会議を行い改善に努めている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	1	保護者様の意見を聞き、業務改善に努めていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	1	公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	1	問題が発生した場合は、業務改善に努めていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	本部研修・顧問を招いての講習を定期的実施している市の研修にも積極的に参加している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	相談支援員と連携を取り、支援会議を行って支援計画を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	0	キッズボンドグループでの「標準テンプレート」を使用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	0	職員で話し合い、議論している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	0	職員が交代で活動を考える等、固定化しないように工夫している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	0	職員で話し合っ、支援内容を決めている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	個別活動では、保護者様のニーズを聞き、本児が楽しく取り組めるようにし、集団活動は本児に無理のないよう取り組めるようにしている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	0	受け入れ前ミーティングを毎日行っている前日の様子や変わった事等、情報共有している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	0	送迎の関係で振り返りができない日もあるが受け入れ前ミーティングまでに、情報を共有できるようにしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	0	お子様の変化等を記録に残し、振り返りを行い改善につなげている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	職員間で定期的に振り返りをして、支援内容の見直しをしている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	2	0	製作活動・食育・お出かけ・地域交流を柱として支援を行っていく

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	児童発達責任者が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	2	0	保護者様とは連絡帳・電話・送迎時に直接伝える等をして、学校と保護者様と情報の共有をしている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	1	医療的なケアが必要なお子様は現在、入所していない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3	1	今後、積極的に情報共有していく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3	1	学校を卒業し障害福祉サービス事業に移行するお子様はまだいないため、今後検討していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	3	研修等に参加し、最新の情報を取り入れていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	4	イベントを企画し、障害のないお子様と活動する機会を設けていきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1	3	現在は参加していない
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	送迎時に短時間ではあるが、保護者様と話をしして情報を共有している 連絡帳で情報共有している
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	3	0	連絡帳・電話・ライン等を使用し、レスパイトケアをしていく
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	契約時に丁寧に説明するよう心がけている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0	連絡帳・電話・ライン等を使用しレスパイトケアをしている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	2	親子参加型のイベントを開催し、他の保護者様と話をする時間を設けている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2	0	問題があった場合や申し入れは必ず児童発達責任者に報告して早期解決に取り組んでいる
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	毎月「キッズボンド通信」を配布している HPやFacebookも定期的にアップしている
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	通信やHP・Facebook掲載時は必ずモザイクをかけている 個人ファイルは鍵付き書庫に保管している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	曖昧な表現は使わない 簡単な絵カードを使って伝えるようにしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	3	今後、考えていく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	0	「防犯訓練」も行っていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	定期的に訓練を行っていく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	定期的な研修に参加している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	0	保護者に事前に十分に説明し、了解(同意書)を得ている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	0	保護者様と話し合い、対応を決めている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0	毎月提出して、事故が起きないようにしている